

令和元年度 学校評価アンケート結果

I 児童生徒アンケート結果

1 アンケート項目

- ① 学校は楽しい。 ② 先生は私達の話をよく聞いてくれる。 ③ 授業はわかりやすい。
- ④ 先生は授業で分からない所を丁寧に教えてくれる。 ⑤ 担任の先生以外にも気軽に話ができる。
- ⑥ 先生は私や友達がいじめられたら私達を守ってくれる。 ⑦ 運動会が楽しみ。
- ⑧ 遠足や宿泊学習、修学旅行は楽しい。 ⑨ 児童会・生徒会活動に楽しく参加している。
- ⑩ 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする場面がある。
- ⑪ パソコンやアイパットなどを授業の中でも使っている。 ⑫ 先生は命の大切さを教えてくれる。
- ⑬ 先生は社会のルールについて教えてくれる。
- ⑭ 教室やトイレなどが清掃され、きれいな学校である。 ⑮ 他の学校と交流することがある。
- ⑯ 火災や地震、津波のときどうすればよいか教えてくれる。

2 小学部児童意見 なし

3 中学部生徒意見

- (1) 訓練は怖いです。⇒火事や地震、津波に係る訓練の意義を本人に分かるように具体的に説明していきたいと思います。

4 高等部生徒意見

- (1)日課変更時のチャイム設定の切り替えは当日でないとダメなのか疑問に思いました。⇒事前に切り替えるように注意します。
- (2) デザートを毎回出して欲しい。⇒限られた予算の中で栄養素やカロリーを計算し、献立を決めているので、毎回デザートを出すことは難しいと説明していききたいと思います。
- (3) 休み時間をもう少し長くしてほしい。⇒休み時間に関しては、小学部と中・高等部との授業時間の違いやスクールバスの運行など学校全体で検討していくべき課題となっています。今後とも教育課程の見直しを行いながら継続して検討していききたいと思います。

5 アンケート結果をうけて

- ・ I、II課程の児童生徒で、アンケートに回答可能な児童生徒、小学部6名、中学部7名、高等部12名、計25名の児童生徒に実施しました。
- ・ 小学部で最も低い回答は⑮の交流及び共同学習で「普通」が1人で「悪い」が5人となっている。今年度は、高原小学校との学校間交流が相手校の百日咳流行の為に中止となったための結果と考えられる。
- ・ 小学部では③の授業の分かりやすさでは、1人が「普通」、1人が「悪い」と答えている。④の「わからない所は丁寧に教えてくれる」では全員が「良い」の回答がありました。
- ・ 中学部で気になる項目は、⑦の運動会は楽しみですかの問いで「悪い」が1人いたことです。

- ・高等部で気になる項目は、④「先生は授業で分からない所を丁寧に教えてくれる」で2人の生徒が「悪い」と答えていることと、(15)交流及び共同学習と⑯防災学習で「悪い」と答えた生徒が1人いたことです。
- ・「悪い」との回答に関しては、教員全体で確認し、具体的に授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

II 保護者アンケート結果

1 アンケート項目

- ① 本校の教育目標は、児童生徒の実態や保護者の願いを踏まえたものになっている。
- ② 本校では、学校の教育方針や教育活動などについて、PTA 総会や保護者懇談会等で説明している。
- ③ 本校では、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育（あいさつなどの望ましい生活習慣を身に付けることや他人に対して感謝と思いやりの心をもつ、社会のルールを守るなど）を行うように努めている。
- ④ 本校では、肢体不自由の状態や発達の状態等を把握している。
- ⑤ 本校では、一人一人の子どもたちに応じた指導の工夫がされている。
- ⑥ 本校では、授業の中でコンピュータ等の情報機器が活用されている。
- ⑦ 本校では、個別の教育支援計画に本人や保護者の願いが反映されている。
- ⑧ 本校では、子どもの将来に向け進路指導が計画的に行われている。
- ⑨ 本校では、教育に係る様々な情報が提供されている。
- ⑩ 本校では、子どもの指導や心身の健康について適切な相談が行われている。
- ⑪ 本校では、子どもの学習状況を適切に評価し、通知表の工夫がなされている。
- ⑫ 本校では、子どものために医療、福祉等関係機関との連携がなされている。(学習支援、生活支援、労働支援、余暇支援、その他)
- ⑬ 本校では、宿泊学習や社会体験活動など、社会自立に向けた指導を行っている。
- ⑭ 本校では、交流及び共同学習が行われている。
- ⑮ 本校では、子どもたちの安心・安全な学習環境整備がなされている。
- ⑯ 本校の PTA 活動は充実している。〔親子学習会、スマイルフェア、沖特P協交流スポーツ大会等における活動等〕
- ⑰ 本校では、地域における特別支援教育に関する相談等に応じている。

2 保護者意見等

- ・学部もナースもビックリするほど丁寧な対応で安心。
- ・相談しやすい。
- ・いつも生徒を気にかけてくれて感謝です。
- ・泡瀬の先生はみんな元気いっぱい、明るくて大好きです。
- ・センター児の保護者です。子どもに関する悩みや相談の場所が分かりません。⇒遠慮なく話しやすい職員へ気軽にご相談して下さい。本校とセンターで連携し対応してまいります。

- ・あってもなくてもいいような形だけのものはなくしてほしい。⇒意見が反映されるように努力いたします。
- ・夏場のクーラー使用の制限を考えて欲しい。クーラー設置に時間がかかるのであれば扇風機等の対策検討も必要。⇒本校校舎は全館クーラーが入っていますし、クラスと連携し必要時には稼働させてまいりました。しかし、今年度夏は、クーラーの故障が相次ぎ部品等を取り寄せるのに時間がかかったりして大変ご迷惑おかけしました。その際は、扇風機等で対応いたしました。

3 アンケート結果をうけて

- ・「良い」と「やや良い」を合わせて80%以下になった項目は⑥の「授業での情報機器の活用」が71%、⑰「センター的機能」が79%という結果となりました。ただし、両項目とも無回答も15%、12%と他の項目に比べ高く。この両項目に関しては、保護者へ情報が伝わっていないと感じております。今後、連絡帳やお便り等での情報を発信していきたいと思っております。
- ・他の項目に関しては80%以上なので概ね良いと思われる。

Ⅲ 学校評議員アンケート結果

1 アンケート項目と感想・意見等

評価領域	感想・意見等
①教育目標：教育方針を分かりやすく伝えている	・伝え方としては分かりやすく伝えていると思われれます。長年の課題と思われるが、保護者へ届く伝え方に対する課題は残る。
②教育実践：教育課題について適切に取り組んでいる	・教育課題について適切に取り組んでいると思うが、現在の特別支援学校の教育現場で「教育の課題」がなんであるかを私自身が把握していない為、未回答とさせていただきます。逆説的に考えると、評価領域以前の課題の発信が不十分とも考えられる。
③健康・安全：健康安全教育に取り組んでいる	・医療的ケアの児童生徒の通学する事もあり、十分に取り組まれていると思われれます。医療の発展に伴い、重度化や疾病等医療と教育の繋がりが非常に重要と思われるため、医療現場との連携強化の取り組みについての情報発信を期待します。
④教育環境：校舎内外の教育環境の整備に努めている	・バリアフリーや車イスの子が能動的に移動できる環境については更に検討してもよろしいかと ・今ある環境内で出来ることへの整備は「やや十分」と評価するが、限られた敷地、老朽化など県費の調整等を行い改善すべきところは多々あると思われるため「やや不十分」と評価させていただきます。
⑤進路指導：適切な進路指導に取り組んでいる	・進路指導は適切に取り組んでいると思われれます。進路指導に当たる上での価値観として評価は「やや不十分」と評価させていただきます。社会的な動向や福祉の新しい情報のキャッチや卒業後、既存の事業所（企業）に“当てはめる”のではなく、境域現場の持つノウハウを伝えていく役割も期待したい。また、卒業後の行き先的な目先のことではなく、一人一人の人生として横断的な視点での進路指導を期待しています。
⑥地域との連携：地	・すみません。よく見えてこなかったため

域と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている	・ 泡瀬特別支援学校だけに限らず、県内においての特別支援学校のセンター的役割の取り組みが見えにくい。また、特別支援学校のセンター的機能の活用法や実践等の報告や周知を希望する。
-----------------------------	---

2 アンケート結果をうけて

- ・ 3名の評議員のうちお一人から④教育環境と⑤進路指導で「やや不十分」の評価を頂いた。今年度より3階からのスロープの設置等の検討も始めている。また、進路指導に関しては、ご指摘の『一人一人の人生として横断的な視点での進路指導』を模索していきたいと思います。
- ・ 評議委員への皆様や保護者等へ届く情報の伝え方も考えていきたい。
- ・ 「不十分」の評価はなく、上記の④⑤以外には「やや不十分」はなかったので他の項目も引き続き努力していきたい。

IV 教職員のアンケート結果

1 アンケート項目

①学校教育目標の具現化へ向け教職員が一体となって取り組んでいる。 ②教育課程は、児童生徒の実態等に即し、適切に編成されている。 ③年間指導計画は、児童生徒の実態等に即し、適切に設定されている。 ④個別の教育支援計画は、保護者や関係機関等と十分連携が図られ設定されている。 ⑤個別の指導計画は、各教科の視点を踏まえ、児童生徒の実態等に即し、適切に設定されている。 ⑥学部や学年会・教科会・ケース会議等において教育計画が十分話し合われている。 ⑦児童生徒の実態等に即し、目標や支援方法を明確にして実施している。 ⑧学年や学習グループ等で教材研究や指導法等を共通理解し、連携を図りながら授業に臨んでいる。 ⑨児童生徒の実態に応じた教材教具等を工夫し、できる状況づくりや分かりやすい授業展開の改善に努めている。 ⑩保護者等に対し、児童生徒のニーズ等を捉え連携を図り、説明責任を果たす等の対応がなされている ⑪関係機関等に対し、児童生徒の実態やニーズ等を捉え連携を図っている。 ⑫保護者との協力のもと、学校間交流や居住地校交流等を推進している。 ⑬校内及び地域のセンター校的役割を担い、就学指導（支援）や教育相談の充実に努めている。 ⑭将来像を踏まえた課題意識や就業体験等適切に取り組まれている。 ⑮計画的に取り組まれ、職員の専門性や指導力の向上が図られている。 ⑯自立活動に関する専門的知識の共通理解や教育実践が行われている。 ⑰適材適所に配置され、機能化された運用がなされている。 ⑱職員会議等の諸会議は、学校運営や学部運営等を共通理解し、効率的に機能している。 ⑲非常時及び緊急時に迅速かつ適切な対応ができる体制になっている。 ⑳医療的ケア体制を含めて、児童生徒の健康・安全・給食指導に関して、各分掌と連携を図りながら十分配慮された取り組みがされている。 ㉑校内緑化や危険箇所のチェック、職員の対応等、教育環境が充実している。 ㉒教育上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気職場になっている。 ㉓教育活動に必要な設備・教材を効果的に工夫し活用している。 ㉔保護者と職員が協力し、充実したPTA活動として取り組まれている。 ㉕各学部や分掌の連携が図られ、一貫性のある取り組みがされている。

2 アンケート結果をうけて

- ・「良い」と「やや良い」を合わせ 80%以下の項目は⑩自立活動と⑫職場環境、⑬設備・教材の3項目であった。
- ・⑩自立活動の課題・要望、改善策は「自立活動の目標の立て方を習いたい。」「自活の目標設定の見直しから校内研で深められないかと思った。」「全体的な専門知識の向上」「専門性のある職員がいない。」「各課程の授業にはいってほしい。」が挙げられている。
- ・⑫職場環境の課題・要望、改善策は「相談し合える時間が取れない。」「話し合える時間の確保」「トップダウンが多い」「管理者で決まっていることを下におろしてほしい。校務分掌の配置や初任研の配置、etc」が挙げられている。
- ・⑬設備・教材の課題・要望、改善策は「プレイルームが欲しい。」「あるものを工夫し活用しているが修理等が必要な個所がある。」「プリンターを活用したいけどインク量と相談となりますか?」「固定化された自活室が欲しい。」と挙げられている。
- ・職員全体で問題点を把握し、次年度に向け、自立活動の研修の充実、話し合いの時間確保の工夫、学校全体がより良くなるように意見を出し合えるようにしていきたい。また、空き教室等の活用や工夫、修理等のスムーズな連絡、インク等も限られた予算の中で有効的に活用できるように努めます。

V 事務・現業職員のアンケート結果

1 アンケート項目

- ①教育目標達成に向けて、職員が共通理解し意欲的に取り組んでいる。
- ②必要な月に職員会議に参加(提案)し、職員に伝える事ができている。
- ③職員の協働体制が推進され、効率よく実践されている。
- ④校舎の安全点検がなされ、施設の維持・管理に努めている。
- ⑤全職員協力のもと、計画的な清掃活動及び美化活動が適切に実践されている。
- ⑥全職員共通理解のもと、学校行事の推進と充実が図られている。
- ⑦業務の処理の正確性、計画性は図られている。
- ⑧業務を遂行する中で創意工夫は図られている。
- ⑨仕事を進める上で必要な知識や情報の習得はされている。
- ⑩来客、電話対応は適切に行っている。
- ⑪事務現業部全体で協力体制がとれている。
- ⑫職員は自らの事務分掌に責任を持って取り組んでいる。
- ⑬勤務上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気職場になっている。
- ⑭個人情報やセキュリティーに留意して、情報の共有化に取り組んでいる。

2 アンケート結果をうけて

- ・「良い」と「やや良い」を合わせ 73%と最も低い値が出た⑫職員会議の伝達で唯一「不十分」が7%(2人)出ている。改善策でも挙げられている「参加できる方に伝えてもらう」ことが大事だと考える。
- ・④施設・設備の管理点検でも 20%(3人)の職員から「やや不十分」であると指摘されている。改善策でも示されているように「文章を見てどこが故障しているかわかるように記入する」等配慮が必要である。
- ・他の項目は、「良い」と「やや良い」を合わせ 80%以上あるので概ね良いと考える。